

HEADLINE

表

1. 自習室、使っていますか？

裏

2. 夏、一日何時間勉強する気ですか？

3. 試験の結果

編集後記

Topic1 自習室、使っていますか？

これまでたくさんの大学受験生のサポートをしてきた文理学院ですが、ある一つの事実に気づいています。それは・・・

第一志望合格者のほとんどは毎日のように自習室を使っていた。

ということです。文理学院の自習室の特徴は、

- ・いつでも開いている。
- ・担当講師が質問に対応できる。
- ・夜遅くまで開いている。

といったところでしょうか。

これは、

- ・学習習慣を身につける、学習時間の確保をするのにとっても良い環境である。
- ・疑問が出てきても、講師ができるだけ早く対応し、無駄な時間を少なくできる。
- ・一日の学習の最後を自習で終えることができる。

ということを意味しています。この学習環境がとても重要だと文理学院は考えています。

文理学院高等予備校では、

1年生のうちに学習法の確立を目指し、2年生では将来を見据えながら学習のリズムを崩さないように指導し、3年生は受験に向けて一直線の指導を目標として取り組んでいます。その指導の過程で自習室はとても重要な役割を果たしています。たとえば・・・

1年生の学習法の確立には、まず学習時間を確保しなければ課題も何も見つかりません。高校受験以上に学習しなければならないということを実感したら、行動に移すことが大切です。毎日出される学校の課題や、授業の未消化な部分を自習室を利用することで解決することができます。そういった取り組みの中で、自分なりの調べ方、覚え方を習得していく、これが学習法の確立です。

2年生では、慣れからくる手抜きによる学習時間の減少をどのように防ぐか？が大きなテーマです。自習室を使えば、先輩、後輩、そして同級生が頑張っている姿を見ることができます。自分の心が止まらないように、自習室に来るという行動をとる、ということが大事です。

3年生は前号でも書きましたが、とにかく受験に向けて待たないで。使えるだけ使いましょう。

皆さん、今日から、今から自習室を使いましょう！

どんどん、どんどん使いましょう！

夏休み前に自習室の使い方を慣れてしまえば怖いものなし！もう既に自習室を使われている皆さん、お友達を自習室に誘ってください。あまり自習室を使われない皆さん、使い続けるときっと良いことがありますよ。1か月、2か月と過ごすうちに、学力も意欲も上がり、成長した自分を実感できるはずですよ。

「文理に来なきゃ始まらない！」を合言葉に。

文理の指導の3本柱は、

- ① 集団授業(周囲のペースに合わせられる学力の向上)
 - ② 個別対応(授業で無理をさせ、足りない部分はしっかりフォロー)
 - ③ 自習室管理(自立した学習の確立を毎日サポート)
- です。自習室管理は学力向上の大きな柱の一つと文理では考えています。

高校1、2年生の皆さんにとって、夏休み中の一日の学習時間はわかりやすい目安となります。
文理学院からの提案として、参考にしてみてください。

高校1年生は、一日6時間以上、夏休み中の総学習時間は260時間以上
高校2年生は、一日8時間以上、夏休み中の総学習時間は330時間以上

前号でも書きましたが、夏休みは自由になる時間は本当に少ないので、どれだけ無駄をなくすかがテーマです。そのためには、

生活のリズムを崩さない。特に朝起きる時間を常に一定にすることです。

睡眠がコントロールできないと、生活のリズムは途端に崩れます。昼間にうとうとしてしまい、そして夜眠れず、その時間にテキストを開き勉強した気になり、また翌日寝坊…こんな繰り返しでは学力の向上は望めません。睡眠をコントロールすることはとても難しく、睡眠のコントロールこそ生活のリズム作りにほかなりません。夏休みに入る前の学校に通っているときと同じ時間に起きることを心がけるとよいでしょう。

時間の目標は各校舎の先生と相談して、微調整してください。そしてもう一つ、とても重要なことは、何を取り組むか？そしてその学習の成果をどのようにチェックするか？という具体的な方法です。それぞれの生徒さんは抱える課題もそれぞれ。得意不得意、取り組みやすいものそうでないものも様々です。**夏の学習内容を皆さんに合わせて提案したいと思います。ぜひ、文理の先生に相談してください。**

ちなみに高校3年生は…

課題を計画的に取り組むために必要な学習時間を積み重ねる、ということが重要です。どんなに少なく見積もっても、

一日12時間以上、夏休み中の総学習時間は500時間以上

となるでしょう。睡眠と学習、この繰り返しの毎日です(総学習時間は夏休み期間を35日程度で計算してあります)。

過ぎてみれば、あっという間の夏休み。無駄にしてはいけません。学習の成果があったかどうかは、その問題に対する解答を復元できるかどうかで容易にチェックできます。どういうことかは、校舎の先生に聞いてください。

学習の質を上げたければ、まずは量。量は文理の自習室で。

この時期、各学年全国模試を受けると思います。進研模試や河合塾の模試のことです。偏差値、校内順位等すべてが数値化された個人成績表は、時として強烈な印象を与えます。思うようにいかない状況で試験結果を渡されたとき、とても冷静に成績表を見ることはできません。すると、「自分の勉強法は正しいのだろうか？」「もっと効率的な学習法があるのではないか？」と考えてみたり、自暴自棄になってしまいます。

こんなときこそ、文理の先生に相談してください。足りないところは何を取り組めばよいか、きちんと指摘しフォローします。

冷静に考えてください。問題点は、時間をかけなければ対処、対応できるはずがありません。それを“効率的に”と考えることこそ、学習を理解していない証拠です。問題点は次から次へ出てきます。文理学院では、この継続的な学習の手伝いをするのが大きな仕事と考えています。表面でも触れましたが、自習室をしっかりと使い、学習量に裏打ちされた自信と学力を身につけてください。

模試を受けたら、できる限り自己採点し、問題を解きなおしてみましょ。成績表が返って来たら分析するので必ず文理へ資料を持って来てください。この差が、皆さんの学力の差になります。共に歩みましょう。これが文理の指導です。

大きい声では言えませんが…

なぜ、これほどまでに“相談してほしい”と訴えるかという、“悩んでいても偏差値は上がらない”からです。落ち込むことはあると思いますが、そんなときこそ立ち止まってはいけないからです。進路や勉強法でいつも悩んでいる人は、受験がうまくいかなかったケースが圧倒的多数です。

落ち込む時間を短く、反省すべき点は反省し、具体的な行動に移す。ここまでの流れを作りたいので、相談してほしいのです。「受験に間に合いますか？」という質問にはいつも「間に合うかどうかではなく、間に合わせましょう。」と答えています。それほど時間は万人に平等で、使い方次第で差が生まれるものだからです。受験生は「自分自身」と「時間」との勝負であることを強く認識しましょう。

■ブログには各校舎の情報満載！スケジュール、講師のつぶやき、自分勝手なメッセージ…

校舎ブログをホームページから、チェックしてください！

■第一志望合格のために、スタッフ一同全力で生徒を応援します。悩みは一人で抱え込もうとせず、いつでも、何でも相談してください(生徒の皆さんも、保護者様も)。

夏期講習生＋新学期生募集！

無料体験授業受付中。お友達を紹介してください。

編集後記

進路相談？人生相談？この時期の3年生の相談はとても難しい。相談内容も、その返答も。これまで関わってきた大学受験生の数は数千人。いろいろな相談を受けてきたが、年齢を重ねるごとに答えにくくなってきた気がする。「自分で選択する」ことが重要であるということ教えるのが難しい、というのが結論ではあるが、相談してくれることは嬉しいし、何とかしたいと思う。「とても難しい質問なんだよね。」と生徒に返すと生徒も困り顔。数学の質問に答えることの方が簡単だ。【い】